

建築学科の FD システム

【JABEE 基準 2.3(3)】

I. 学部としての FD の取り組み

工学部では質の高い技術者教育プログラムを提供するために、教育改善システム委員会（工学部全体）の下、教育推進センターFD活動推進部門において、様々なFD活動を日常的に推進している。FD活動は、その実績をウェブサイトで公開しているほか、FD活動報告書を作成し、教職員に配布している。

1. 工学部運営方針説明会 年2回

毎年、4月と10月の最初に、工学部の運営方針について説明会が開催される。

2. FD研修会 工学部、大学院、全学などが主催で年複数回

3. ピアレビュー 年1回

4. 授業評価アンケートとリフレクションペーパー 年2回

学生の授業評価アンケート（WEB）と、これに対するリフレクションペーパーの作成で、教員の授業に対する教育力の向上が図られている。

5. 学外教育関連セミナーへの参加

学外で開催される教育関連セミナーの案内がFD部門委員を介して紹介され、教員の参加が促進されている。参加する場合、旅費・参加費等は学部が負担している。

6. 非常勤教員ガイダンス 年1回（3月末）

非常勤講師に対して、工学部の教育方針、教務関係システムの説明を行っている。

7. 教育研究業績総括表 年1回の更新

工学部の教育研究業績総括表の中で、「教育研究業績書」の作成が義務づけられており、1年間の教育活動に関する取り組みを自己点検するようになっている。

8. 教員業績評価自己申告表 年1回（5月）

教員の1年間の業績を、(1)教育業績、(2)研究業績、(3)管理運営活動、(4)社会活動に分けて自己評価し、学部評価委員会で提出された評価表が点検される。評価委員会でA評価であった教員にはボーナスが加算される。また、C評価の教員には、学部長から訓告を受けることになる。

9. 新任教員研修会

近畿大学は、新任教員に建学の精神と教育理念を理解してもらうため、毎年、春季と秋季2回の新任教員研修会を開催している。新任教員の参加が義務付けられている。

II. 建築学科としての FD の取り組み

1. JABEE ガイダンス 年1回

近大ゼミ（2022年度までは基礎ゼミ）の第1回で、新入生に対する建築学科JABEEの説明会を開催している。これには、建築学科全常勤教員が参加し、毎年、JABEEに対応した建築学科教育システムの再確認を行っている。なお、これは新任教員に対しても有効なガイダンスとなっている。

2. 同一授業複数教員担当制（別クラス）

静定力学・同演習、材料力学・同演習では、4クラスにそれぞれ別の担当教員を配置し、同じ試験問題により評価を行っている。また、演習問題・宿題等も共通化している。それぞれの教員で教え方は多少異なるが、より理解しやすい講義を目指して互いに切磋琢磨している。不静定力学Ⅰ・同演習（2クラス）、不静定力学Ⅱ・同演習（2クラス）、構造演習（2クラス）、構造設計Ⅰ・同演習（2クラス）についても同様の効果がある。また、建築設計演習Ⅰにおいても、少人数制の授業を実施するために、複数教員が別クラスで同じ演習を実施し、教員間で切磋琢磨しながら学生の指導を行っている。

3. 同一授業複数教員担当制（同クラス）

また、建築設計製図、建築設計演習Ⅱ,Ⅲでは、常勤教員と非常勤教員が複数担当しており、

互いの技術を学び合う仕組みになっている。他方、建築実験では、構造・材料・環境系の教員が各種実験を分担して学生の指導にあっている。

4. 授業における講義カードの利用

多くの授業では、学生に講義カード（演習科目はコンタクトシート）を配布し、学生の理解度・要望を即時に把握している。これにより、学生の理解度に応じた授業のやり方を創意工夫している。

5. 建築学科成績表（ティーチング・ポートフォリオ）の作成

建築学科では、担当授業のティーチング・ポートフォリオの作成を推進している。まず、Excel 表に、受講生の成績評価に関する中間試験、期末試験、レポート等の点数をすべて記入し、シラバス、授業デザイン、学生の講義カード、成績評価に関する中間試験、期末試験などの答案、レポートなどを原則電子ファイル（PDF 等）で保存するようにしている。これは、教員個人の資料管理能力を格段に高める効果がある。また、成績に関わる資料を原則保存することで、評価基準に沿った適正な評価を遵守するようになる。

6. 教育改善会議（JABEE/FD 会議）

Semester ごと授業改善に関しては、各系の教育改善会議で点検し、改善案を話し合う。専門教育に関しては、設計・計画系会議と構造・生産・環境系会議で、教育内容、教育方法、学生の理解度等を話し合い、次年度の改善を行う。年齢・職位に関係ない活発な議論が教員の教育力の向上に役立っている。

7. 教育改善 WG（JABEE/FD 会議）

教育改善 WG は、学科の教育問題について議論し、計画・立案をする会議で、このような WG で、教育に関する様々な情報交換が行われ、参加教員の教育力向上に大いに役立っている。

8. 専門科目非常勤講師に対する FD

2015 年度まで、常勤教員を中心として年 2 回の「計画系会議」を開催し教育改善に関する議論を行ってきた。非常勤教員を交えた教育改善に関する議論は、主に卒業設計発表会後の評価会議や学科忘年会で行っていた。2016 年度に、建築デザイン教育に携わる非常勤教員も学科の FD 活動に参加しやすいように、「計画系会議」を「建築設計教育会議」に改組した。2017 年度に参加教員の研究分野に沿うように「建築設計教育会議」を「設計・計画系会議」に名称変更した。年 2 回の「設計・計画系会議」では、非常勤教員を対象に JABEE への取組みについて説明を行う。